

令和4年9月7日

川の生き物から水質を簡易判定！ ～川に親しみ調査する、水生生物調査を実施～

1. 概要

三重河川国道事務所では、小学生・中学生・高校生及び一般の方々に参加していただき、鈴鹿川・雲出川・櫛田川・宮川に親しみながら行う「水生生物による水質の簡易調査」を昭和59年度から継続して実施しています。

今年度9月は2団体約137名の方々の参加を予定しており、参加者に身近な河川の水質状況、河川の水質改善の必要性、河川愛護の重要性を認識していただくことを目的として実施します。併せて河川水難事故防止に向けた啓発活動も実施いたします。

なお、実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で行います。

2. 日時 別紙1参照

3. 場所 櫛田川の本支川地点(予定) 別紙1及び2参照

4. 参加団体 2団体・約137名(予定)別紙1参照

5. 解禁 指定無し

6. 配布先 三重県政記者クラブ、第二県政記者クラブ、松阪記者クラブ ※取材可能

(取材をご希望される場合は事前に登録をお願いします。別紙-5)

令和3年度 実施状況



7. 問合せ先 国土交通省三重河川国道事務所

- ・水生生物調査に関して
調査課長 堀江 隆生
TEL 059-229-2216 (調査課 直通)
- ・水難事故防止に向けた啓発活動に関して
河川管理課長 秋田 尚孝
TEL 059-229-2217 (河川管理課 直通)

※別紙1：実施予定日時、実施予定箇所、参加団体、参加人数等について
別紙2-1～4：鈴鹿川・雲出川・櫛田川・宮川での調査予定位置について
別紙3：水生生物調査実施方法、河川水難事故防止に向けた啓発活動について
別紙4-1～3：河川水難事故防止について
別紙5：取材登録書

令和4年度 三重河川「水生生物による水質の簡易調査」 参加団体予定表(9～10月分)

水系	河川名	調査地点	調査日		予備日		参加団体	参加 予定人数
			日程	開始時間	日程	開始時間		
榑田川	榑田川	両郡橋 左岸側	9月29日(木)	9:50	10月13日(木)	9:50	相可高等学校3年生	8人
	佐奈川	大峯橋 左岸側	9月13日(火)	13:45	9月15日(木)	13:45	多気中学校1年生	129人
			9月13日(火)	14:45	9月15日(木)	14:45		
		槇尾橋 右岸側	9月13日(火)	13:45	9月15日(木)	13:45		
			9月13日(火)	14:45	9月15日(木)	14:45		
		3地点	5回		5回		2団体	137人

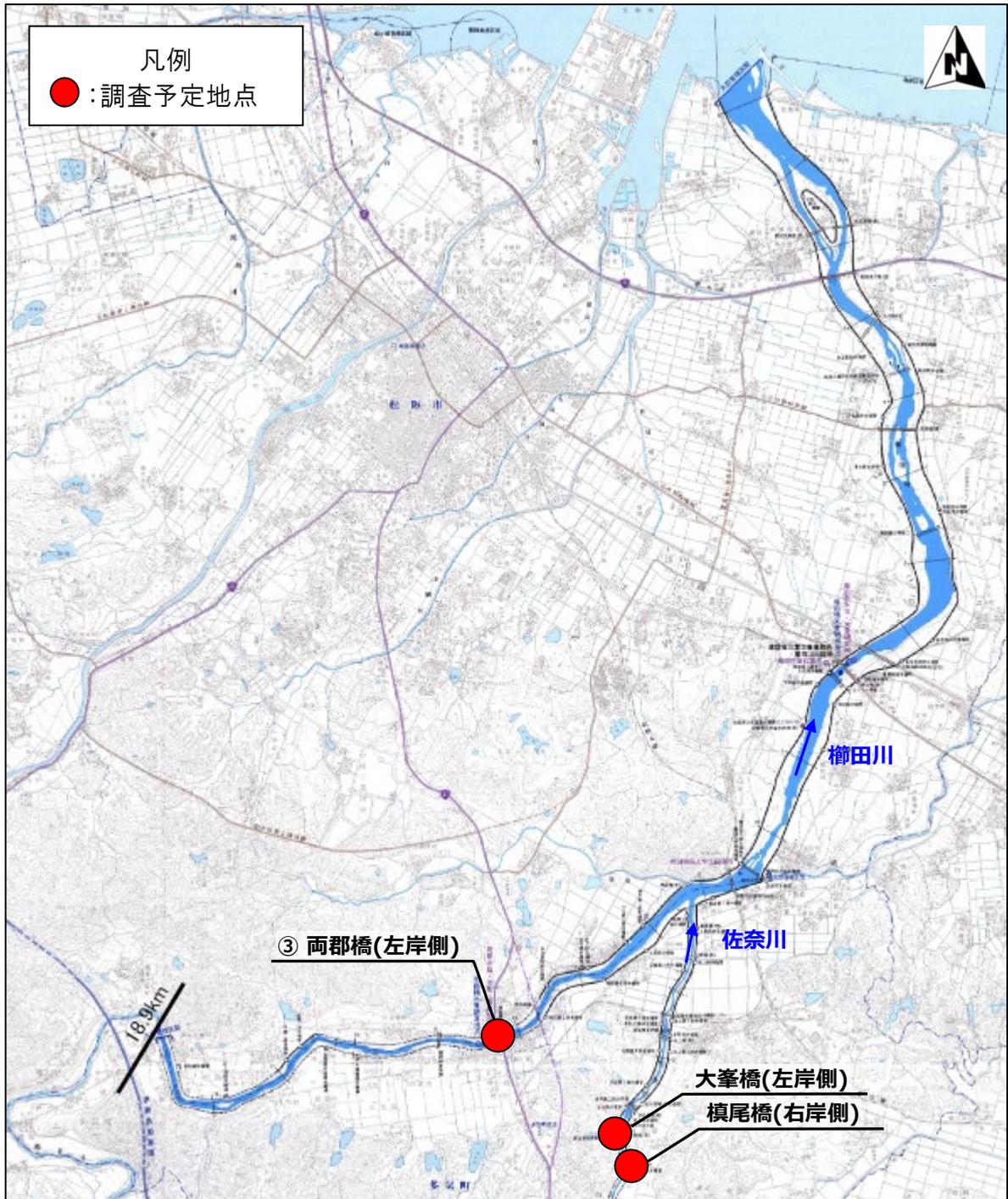
※現地調査は、相可高校は90分程度、多気中学校は60分程度を予定しております。

※当日、**雨天の場合**、または**前日までの雨等により河川が増水している場合**や、**諸事情により実施不可の場合**は現地調査を中止します。

※日程・調査位置については参加者の都合等により変更となる場合があります。

※調査地点等不明なことがありましたら、お問い合わせ下さい。

櫛田川水系 調査予定地点位置図(9~10月)



水系	河川名	調査地点
櫛田川	櫛田川	③ 両郡橋 (左岸側)
	佐奈川	大峯橋 (左岸側)
		槇尾橋 (右岸側)

＜水生生物調査方法＞

- ・川の中に入り、こぶし大の石等についている生物をピンセット等で採取したり、網を使い、川底を攪拌して網に入った生物を採取します。
- ・採取した生物は、少し水を入れた白いバット（箱型の容器）の中に入れて、標本等と比べて種類を確認します。
- ・指標生物は比較的移動の少ない水生生物としています。
（カワゲラ類、サワガニ、ヒラタドロムシ類、タニシ類等）
- ・調べた水生生物を記録用紙に記入し、観察した水生生物や石は川に戻します。
- ・水生生物は、「きれいな水」「ややきれいな水」「きたない水」「とてもきたない水」の4つの水質階級の指標生物に分類し、見つかった指標生物の種類が一番多いものをその地点の水質階級とします。

○三重四川で昨年度確認された指標生物 分類：「きれいな水」



＜河川水難事故防止に向けた啓発活動＞

国土交通省では平成21年度より「河川水難事故防止週間」（7月1日～7日）を設け、河川水難事故の防止のため全国的に重点的な啓発活動を行うこととしており、今回の調査の中で、参加者に対して河川水難事故防止に向けた啓発活動を行います。

○平成31年度 河川水難事故防止に向けた啓発活動実施状況



水害から命を守ろう！

季節 景色
わたしたちに豊かな恵みを与える川
大雨が降ると、さまざまな被害を受けることも

大雨のとき
テレビや携帯電話などで避難情報を確認しよう
早めに安全な場所へ避難しよう
避難が遅れたら、高くて安全な場所へ移動しよう

避難レベルと避難情報
【避難レベル】はすでに災害が発生しています
【避難レベル3】や【避難レベル4】で避難しましょう。

避難者等は「全員避難」
避難レベル1 避難レベル2 避難レベル3 避難レベル4 避難レベル5

伊勢每宮外宮参道の様子
ふだんのそなえ
ハザードマップで身の回りの危険な場所を確認しておこう
家族のひと、避難場所を決めておこう
大雨のとき
テレビや携帯電話などで避難情報を確認しよう
早めに安全な場所へ避難しよう
避難が遅れたら、高くて安全な場所へ移動しよう

避難者等は「全員避難」
避難レベル1 避難レベル2 避難レベル3 避難レベル4 避難レベル5



川のことをよく知り、 川を楽しもう

かわ 文句 楽しむ
川は楽しい、面白い。

かわ めぐ ほど
川の恵みとリスクを肌
で感じたい。

かわ せいぞつ せばん
川は生活の基盤
になっている。

かわ あそ しょう 川遊びの5か条

1. 川は私たち生き物の源。魚・虫・鳥などの動物や、植物のことをたくさん感じよう。
2. 川へは一人で行かない。仲間どうし、お互いに注意しあって楽しく遊ぼう。
3. 川には魅力もあるが怖いところもある。自分でよく考え、自分のことは自分で守ろう。
4. 川は常に変化している。遊ぶ前に下見し、遊んでいるときは天気や流れを確認しよう。
5. 川へ入るときはライフジャケットをきちんと着けよう。

川遊びの5か条を守って
水難事故を防ぎましょう



川は時として怖い場所になることもあります。

川はとても楽しく、面白いところですが、上流や近くで雨が降ったりすると、川の水が急に増えて流されてしまうなど、時として怖い場所になることもあります。



兵庫県都賀川では、周辺に降った大雨で川の水が急が増え、子ども3人、おとな2人が流されて死亡しました。

1 準備をして、川へ出かけましょう

- ・177などで天気予報を確認しましょう
- ・服装や履物をチェックしましょう
- ・持ち物をチェックしましょう
- ・だれといっしょに行くか、必ず伝えましょう
- ・かぜをひいていませんか、ケガしていませんか、なんとなく行きたくない感じはありませんか



水に入るときの服装

- ・ライフジャケット
- ・ぬれても良い服装
(乾きやすいナイロン製のものなど)
- ・靴：脱げなくて、ぬれてもいい運動靴
(ウォーターシューズ、リバーシューズなど)
- ・ビーチサンダルは脱げて危険なので使用しないこと など

2 川に着いたら

- ・上流や下流の様子を確認し、危険な場所を探してお互い注意しましょう
- ・流れのはげしい所や深そうな所など、川岸や川床の様子なども注意しましょう
- ・服装をお互いに確認しましょう
- ・雨のあとなど、増水しているときは川に入らないようにしましょう
- ・看板や逃げ道を確認しましょう



3 こんなときはすぐに川から出ましょう

- ・空が急に暗くなったり、雷が鳴ったらすぐに川から逃げましょう
- ・橋の下で雨宿りせず川からあがりましょう
- ・自分で判断し、自分の身は自分で守りましょう
- ・危険を感じたら、周りに声をかけましょう

川原や水辺で活動するときの服装

- ・帽子をかぶる
- ・軍手をする
- ・動きやすい服装
- ・ぬれてもいい歩きやすい靴など

川や海はたのしい。

かわ

うみ

しまもれしを

みずへの
いきものを
さがそう。



あぶない

こうじをしている
ところには
ちかづかないよ。



こうじげんばに
ちかよらないで。

サイレンが
なったら
かわがらぬよう。

あぶない

サイレンになると
みずがふえてきけんだよ。

かごいで
バーベキュー
おいしいね。



あな
かすは
あぶない。

あぶない

テントをはったり
くるまをいれると
あぶないよって
おとなのひとに
おしえてあげてね。



かわらの
しほいばこ
あまほづ。



あぶない

あまほづの
あまほづ。

すべりやすく
あぶないよ。

あぶない

かこうのちかして
およがないで。



みずのながれが
ふくざつで
あぶないよ。

かわやうみであぶるときは
おとなのひとといっしょだね。

国土交通省
三重河川国道事務所

「取材登録書」

令和4年9月7日
三重河川国道事務所**「水生生物調査の実施」取材登録書**

「水生生物調査の実施」の取材をご希望される報道機関におかれましては、事前にご登録をお願い致します。登録の際は本紙へ必要事項を記入の上、FAXにて送信いただくか、メールにて下記1. 報道機関名、2. 取材者等の内容をご連絡ください。

※新型コロナウイルス感染症対策として、当日はマスクの着用をお願いします。

川の中に入る場合は危険ですので、水に濡れてもかまわない運動靴をご持参ください。

取材登録期限：調査実施の前日 まで

1. 報道機関名 _____

2. 取材者等

(1) ご氏名 _____

(2) 連絡先 TEL _____

(3) 取材人数 _____ 人

(4) 取材予定日 _____ 月 _____ 日 地点名： _____

_____ 月 _____ 日 地点名： _____

※欄が不足する場合は欄外に内容がわかるようにご記入ください。

3. 送信先 (FAX) 059-229-2257(メール) cbr-miechousa@mlit.go.jp

4. 問い合わせ先

三重河川国道事務所 調査課長 堀江 隆生
電話 (059) 229-2216 (調査課 直通)